

介護施設のためのACP (アドバンス・ケア・プランニング) 研修 開催要綱

趣旨 令和3年度の介護報酬改定で、看取り介護加算の算定要件として、介護保険施設と高齢者の住まいに「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿った取り組みを行うことが求められています。

本研修では、人生の最期の時をどのように迎えたいのかを、予め本人・家族、医療福祉従事者と話し合い、共有するプロセスであるACPの概念を理解し、進め方や必要なスキルを学ぶことで、本人や家族の思いを尊重した意思決定支援を行うことを目的に開催します。

<この研修のポイント>

- ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の考え方を体系的に理解できます
- 緩和ケアに対する知識を養うことで、適切な意思決定支援を実践する能力が身につきます
- ACP実践に必要不可欠な多職種連携の重要性について学べます

<こんな方におすすめ>

- 利用者や家族の思いを尊重した支援の在り方を考えたい方
- 緩和ケアの視点を日々のケアに活かしたい方
- 多職種で連携しながらACPに取り組むためのヒントを得たい方

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

介護施設等で管理・指導者的立場の職員、相談支援業務を担う職員
その他専門職等

配信期間

令和8年7月10日（金）～8月31日（月）

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

申込期間

令和8年5月11日（月）～6月8日（月）

受講可否

令和8年6月16日（火）までにご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約60分	講義1 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の基礎理解」	「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」から今日に至るまでの改訂の経緯や、看取り介護加算の変遷を学んだうえで、人生の最期の時をどのように迎えたいかを話し合い共有するプロセスであるACPの概念や構造、意思決定支援の進め方とそのポイントについて理解します。
約90分	講義2 「緩和ケアの考え方について」	適切な意思決定支援を実践するために、終末期医療に関する知識を身につけ、ターミナル期におけるQOLの考え方など、緩和ケアについての理解を深めます。
約60分	講義3 「ACPの取り組みにおける多職種連携」	ACPに積極的に取り組んでいる介護施設等から、実践報告として、チームアプローチや外部連携等を含めた施設としての取り組みを学びます。

※本研修は、令和7年度に実施した「介護施設のためのACP（アドバンス・ケア・プランニング）研修」と同内容です。